

第1章 三重県農業技術センターへの統合

はじめに

第1章では、農業研究所の歴史において大きな節目の一つとなった昭和45年度（1970）の「三重県農業技術センター」の創設を記録として残すべく特集する。昭和44年度及び45年度の業務年報から場長による「はしがき」を引用するなど、設立当時の状況を振り返った。なお昭和年代の資料等を引用する場合には、できる限り原文のとおりとするが、フォントや送り仮名の変更等を適宜修正した。本書中には特に注意書きをしていない点、ご理解いただきたい。

第1節 三重県農業試験場 昭和44年度業務年報から

業務年報の冒頭に掲載された当時の室賀場長による「はしがき」を掲載した。ここには、研究・普及・教育の組織統合に向けた場長の意気込みが語られている。統合後はしばらくこの組織形態で経過するが、「はしがき」に記述された農業の“大変革期”に翻弄され、組織・機構はさらに変遷していくことになる。

1. 三重県農業試験場 室賀場長はしがき

この年報は、三重県農業試験場の本場、分場、及び試験地において、昭和44年度に実施した業務の概要をとりまとめたものであるが、本年は三重県農業試験場が発展的解消をする最終の年度でもあるので、巻末に附録として「三重県農業試験場小史」をつけ、創設以来の経過と業績の概要を収録した。

明治10年、栽培試験場として発足し、明治27年農事試験場となり、現在の三重県農業試験場になるまで数回の機構改革と移転が行なわれているが、栽培試験場創設時から数えると92年5カ月、農事試験場となってからでも75年6カ月、現在地の白子へ移転して以来48年、三重県農業試験場という名称となって以来12年7カ月を経過して今日に至っている。米の過剰が唱えられ、未だかつて経験したことのない大変革期を迎えた我が国の農業、ひいては我が三重県の農業が、いかにあるべきか、ということに思い至るとき、当試験場が移転整備され、蚕業および畜産の試験研究、並びに技術普及部門と統合され、「三重県農業技術センター」という新しい機構として、1970年4月から出発するようになったことは意義深いことと云わなければならない。

農業技術センターの建設は昭和43年度から開始されたが、44年度は建設の最盛期に当たったため、建設に伴う設計検討、機構審議および移転準備など、従来試験業務に重複して場員は多忙な1年を送った。しかし44年度は特に他の年に比して試験研究実施面を軽減したということはない。44年度の記録および過去数十年の小史が、県農業進展の一助ともなれば幸である。終りに当試験場の業務に、創設以来変らぬご支援と、ご協力をいただいた県内農家、ならびに関係機関の方々に深甚の謝意を表するとともに、移転整備後の新機構に対しても今後とも何卒宜しく、ご支持のほどお願いする次第である。

昭和45年3月

三重県農業試験場長 室賀利正

2. 三重県農業試験場 昭和44年度業務年報（一般経過概要から）

場長の「はしがき」に続いて、年報の「一般経過概要」から試験研究の背景及び概要を引用し当時の状況を顧みることとしたい。

(1) 試験研究の背景：県農業をとりまく諸情勢

昭和44年度の稲作も、過去2カ年に引続く豊作となり、本県では10a当り402kg※という県史上最高の収量となった。最近のわが国の経済高度成長と米価政策とに支えられた米の生産の伸長は著しく、消費の停滞ないし減少と相まって、米の過剰在庫が大量に累積するに至った。このことは従来の稲作偏重の政策から、総合農政の推進、米作調整へと国の施策を変換させることとなり、農家を終戦直後の農地改革以来の大変革に遭遇せしめることとなった。

総合農政の当面昭和44年度の内容としては、新規開田の抑制、飼料作物、園芸作物等への作付け転換を通じて米の生産調整を進めるとともに、米穀管理の改善、畜産、園芸等の振興と価格・流通・加工ならびに消費者対策の充実を図るほか、農業金融の拡充および第2次農業構造改善事業への着手などをその重点施策として打ち出して来た。

このほか、数年前から云われて来たところであるが兼業化の進行、農業就業者の減少と質的低下、農地の転用、公害など、本県農業の生産環境条件の悪化はますます激しさを加えつつある。

※ 令和3年（2021年）産水稻の反収は495kg/10aであった（作物統計調査から）

(2) 県農業施策の進展

県においては、以上のような動向に配慮しつつ、継続中の重要事業については一層これを拡充強化するとともに、総合農政をはじめとする国の新規施策は、本県農林漁業の実態に即して積極的にその活用を図り、また生産性の向上につながる新技術の普及および流通消費部門の合理化を図るうえで有効な施策については、可能な限り県単事業としてとりあげ、これらを総合して強力かつ重点的に推進して来た。

県の主なる施策項目としては、農業構造改善対策の推進、農業生産基礎の整備、生産および価格・流通対策の拡充、農業就業者の資質の向上と後継者の確保育成、農業金融の拡充、および農業団体の育成を図るほか、試験研究の充実策として、農業・蚕業・畜産の3試験場と技術普及を統合して農業技術センターの建設を行った。

(3) 試験研究の概要

以上のような農業情勢を背景として、昭和44年度に当场では、総合農政の線に沿い、農業の近代化に対応する新技術の開発、生産性の向上を目標に、水田作については稲作の機械化、米質改善および水田高度利用の方向へ研究を指向するとともに、最近急速に増加しつつある施設園芸の生産安定、良質茶生産のための茶栽培管理法と製茶法の確立、果樹、特に新造成ミカン園の省力安定管理技術、ならびに水田における粗飼料の生産利用方式などについて研究を進めて来た。

第2節 三重県農業技術センター 昭和45年度業務年報から

次に「三重県農業技術センター」としての初号となる昭和45年度業務年報冒頭の初代所長、森下所長の「はしがき」を掲載する。

1. 昭和45年度三重県農業技術センター 森下所長はしがき

この年報は、三重県農業技術センター及び三重県農業経営大学校において昭和45年度に実施した業務の概要をまとめたものであります。

当センターは、旧農業、蚕業、畜産の県各試験場、並びに農業改良普及機関を統合一体化し、これに旧農業経営研修所を経営大学校に改めセンターに併設して農業技術の総合機関として昭和45年4月1日に発足いたしました。

最近における農業は経済の高度成長による生産条件の悪化、農産物の貿易自由化、米の生産調整、後継者の減少等、内外ともに複雑な難問題を抱えており、県内農業も米作中心より漸次園芸、畜産を中心とした企業的高水準農業への脱皮が図られていますが、その高付加価値生産技術と農村労働対策が強く要請されつつありますことは御承知のとおりであります。

この様な情勢に対応して、当センターでは農業近代化達成に必要な省力機械化栽培技術を始めとし、園芸、茶、養蚕、畜産などの振興のための技術、及び協業経営等経営近代化の問題等を重点に試験研究を進めるとともに、これを普及に移行して農家の要請に応えるべく、当センターに負わされた使命と責任の遂行に邁進しようと考えています。

農家の技術、経営の革新は今直ちにすべてなし得るところではありませんが、開設1年間の業務の概要を集録して関係者の参考に供するため業務年報第1号として刊行するものであります。

昭和45年9月

三重県農業技術センター

所長 森下 克明

2. 三重県農業技術センターの概要（昭和45年度）

— 昭和45年度業務年報 総説から引用 —

(1) センター設立の経過

当センターは、最近における農業情勢に対処するため、分散した関係機関を統合しこれと併せて試験研究、普及事業、教育事業が緊密な連携のもとに行われるようこれらの組織を整備拡充し、本県農業振興の総合的な技術開発と普及活動の拠点としたものである。従来の農業試験場（鈴鹿市江島町）、蚕業試験場（津市藤方）を移転新築するとともに、畜産試験場及び農業改良普及機関の全組織を融合一体化し、これに加えて農業経営研修所（鈴鹿市石薬師）を移転新築して、農業経営大学校に改めセンターと併設することとした。

用地買収を昭和42年度より開始し、建物、用地造成工事を昭和43年度より着工し、昭和45年度で完了した。

(2) 用地及び建物について

第1-1表 用地及び建物の現状（昭和46年3月31日現在）

所属	所在地	用地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
農業技術センター	一志郡嬉野町川北	284,797	10,890
〃 畜産部	〃 須賀	349,025	10,065
〃 蚕業部 明野栽桑試験地	度会郡小俣町	36,994	1,792
茶業センター	亀山市亀田町	36,874	1,951
〃 南勢茶試験地	多気郡大台町栃原	5,237	225
伊賀農業センター 栽培研究室	上野市四十九	27,199	671
〃 果樹研究室	上野市荒木	32,293	461
紀南かんきつセンター	御浜町志原	27,155	1,128

(3) 主要建物について

第1-2表 主要建物の概況

主要建物 (区分)		棟数	面積(㎡)	摘要
本所	本館	1	3,202.50	鉄筋コンクリート3階
	研修館	1	1,282.42	鉄筋コンクリート2階
	合同研修館	1	159.30	鉄筋コンクリート平屋
	蚕業棟	8	1,447.70	コンクリートブロック平屋
	温室棟	14	1,016.35	鉄骨、アルミ、木造、ガラス平屋
	農機具棟	3	538.61	鉄骨、波型スレート平屋
	作物関係作業棟	5	990.40	鉄骨コンクリートブロック、波型スレート平屋
	準備室、ガラス室、網室	2	420.48	鉄骨波型スレートガラス平屋
	園芸関係作業棟	2	458.03	鉄骨コンクリートブロック、波型スレート平屋
畜産部	本館 (事務所等)	1	513.22	木造 瓦スレート 2階
	厩舎	1	416.52	木造 瓦葺 2階
	牛舎、乳牛舎	4	1,249.58	木造 マンサートスレート葺 2階
	豚舎	6	678.70	木造 瓦葺 平屋
	鶏舎	14	1,851.37	木造 瓦葺 平屋、軽量鉄骨 小波スレート平屋
明野栽桑試験地	本館	1	228.09	木造 瓦葺 平屋
	蚕室等	2	777.68	木造 瓦葺 平屋
	寄宿舎	1	426.11	木造 瓦葺 平屋
茶業センター	事務室	1	162.54	木造 スレート 平屋
	製茶精選室	1	269.81	木造 スレート 平屋
	研究室	2	459.49	木造 スレート 平屋
	製茶実験室	1	176.50	鉄骨 スレート 平屋
南勢茶試験地	事務室	1	89.25	木造 スレート 平屋
	倉庫	1	53.71	木造 瓦葺 平屋
	製茶工場	1	82.64	木造 スレート 平屋
伊賀農業センター 栽培研究室	本館	1	213.22	木造 スレート 平屋
	倉庫	1	145.45	木造 スレート 平屋
	作業舎	1	85.95	木造 スレート 平屋
果樹研究室	作業場	1	132.23	木造 亜鉛葺 平屋
	収納舎	1	198.34	木造 スレート 平屋
紀南かんきつセンター	かんきつ研修館	1	188.42	鉄骨 スレート 平屋
	実験室	1	148.13	木造 瓦葺 平屋
	収納舎	1	138.84	木造 瓦葺 平屋
	貯穂庫	1	30.24	コンクリートブロック 平屋
合計			18,231.82	

(4) 組織機構及び分掌事務について

第1-3表 事務分掌表

所属		事務内容
総務部	庶務課	公印の管守に関する事 文書の処理及び保存に関する事 職員の身分及び服務に関する事 財産の管理に関する事 広報及び公聴に関する事 その他他課の所管に属しない事
	経理課	予算経理に関する事 物品の管理に関する事 出納その他会計に関する事
普及部	企画調整課	農業改良技術及び生活改善の普及に係る企画調整に関する事
	普及課	農業技術及び農業経営の改良普及の指導に関する事
	生活改善課	農林漁家の生活改善の指導に関する事
営農部	経営研究室	営農に係る試験研究に関する事 農業技術に係る実態調査に関する事 農作業の能率化に関する事 農業に係る試験研究及び調査の広報に関する事
	農業機械研究室	農機具に係る試験研究に関する事
作物部	作物研究室	主要農作物、特用作物及び飼料作物に係る試験研究に関する事 主要農作物の原種の生産及び配布に関する事
	育種研究室	育種に係る試験研究に関する事
園芸部	果樹研究室	果樹に係る試験研究に関する事
	野菜研究室	野菜に係る試験研究に関する事
	花き研究室	花きに係る試験研究に関する事
環境部	病害研究室	農作物の病害に係る調査研究に関する事 農作物の病害発生予察に係る調査研究に関する事 農薬に係る試験研究に関する事
	虫害研究室	農作物の害虫、益虫その他有害動物に係る調査研究に関する事 農作物の害虫発生予察にかかる調査研究に関する事 農薬に係る試験研究に関する事
	土壌肥料研究室	土壌及び肥料に係る試験研究に関する事 農業に係る物件の分析鑑定に関する事
	地力保全研究室	地力保全に係る調査研究に関する事
蚕業部	養蚕研究室	蚕及び養蚕に係る試験研究に関する事 原蚕種の育成及び配布に関する事
	栽桑研究室	桑樹及び桑園に係る試験研究に関する事 桑種苗の育成及び配布に関する事
	蚕桑病理研究室	蚕及び桑樹の病理に係る調査研究に関する事

畜産部	酪農研究室	乳牛に係る試験研究に関すること 乳牛の改良に関すること
	肉牛研究室	肉牛に係る試験研究に関すること
	養豚研究室	豚に係る試験研究に関すること 種豚の改良及び配布に関すること
	養鶏研究室	鶏に係る試験研究に関すること 種鶏の改良及び配布に関すること
	飼料研究室	飼料に係る試験研究に関すること
	繁殖衛生研究室	種雄畜に係る試験研究に関すること 精液の採取及び配布に関すること
茶業センター	庶務課	文書の処理及び保存に関すること 財産の管理に関すること その他他室及び試験地の所管に属しないこと
	栽培研究室	茶の栽培に係る試験研究に関すること
	製造研究室	茶の製造に係る試験研究に関すること
	南勢茶試験地	茶に係る試験研究に関すること
伊賀農業センター	栽培研究室	農作物の栽培に係る試験研究に関すること 主要農作物の原種の生産に関すること
	果樹研究室	果樹に係る試験研究に関すること
紀南かんきつセンター	かんきつ研究室	かんきつの研究に関すること
農業経営大学校	教務課	本科の教育に関すること（機械研修を除く）
	研修課	短期研修に関すること 機械研修に関すること 研修施設の管理運営に関すること



昭和44年11月28日 完成した本館玄関前、
8m道路整備の様子